

第23回社会福祉実践家のための臨床理論・技術研修会

ソーシャルワーク実践を支えるスーパービジョン

2009年10月24日(土) 10:00~17:00

明治学院大学社会学部付属研究所主催

基調講演 10:00~11:45

ソーシャルワーク実践を支えるスーパービジョン

講師：堀越 由紀子 (田園調布学園大学 教授)

* 基調講演のみの参加も受け付けます(基調講演オープン参加)。

●●●・・・研修会ご案内・・・●●●

人口減少時代を迎えた人びとの「暮らし」は、いっそう不安定さを増し、ソーシャルワーカーは、多様な生活課題への向き合いを求められています。そのことと併せて、社会福祉領域には他職種の参入が進むことになり、連携・チーム実践を通じてソーシャルワーカーとしての実践力・実践の質が厳しく問われることとなりました。その一方で、ソーシャルワーカーが利用者との間で、あるいは組織内で引き起こす不祥事(＝逆機能現象)は後を絶ちません。

かかる状況を踏まえ、本研修会では、ソーシャルワーカー間における協働作業としてのスーパービジョンについて学びたいと思います。社会福祉専門職として「自明」のように取り組んできた「仕事」を一度はシャッフルし、利用者・当事者の「暮らし」を「平均化」して捉えることをしないソーシャルワーク支援を構築できるスーパービジョンのあり方を考える機会を企画してみました。スーパービジョンの過程がソーシャルワーカーによる「相互学習」「相互批判」の場として「育ち」を後押しする機能となることを体験する一日になるに違いありません。

(開催要項は3ページに掲載)

<基調講演講師：堀越 由紀子(ほりこしゆきこ)先生のプロフィール>

上智大学文学部社会学科社会福祉学専攻卒ならびにルーテル学院大学総合人間学研究科社会福祉学専攻修了、現在同大学院博士後期課程在学中。1978年4月～2004年3月北里大学病院および北里大学東病院において医療ソーシャルワーカーとして勤務、2004年4月より現職。

専門分野：保健医療分野のソーシャルワークの歴史的考察ならびに保健医療と協働するソーシャルワーカーの力量形成過程。

著書(共著)：河野友信・若倉雅人編(2003)「中途視覚障害者のストレスと心理臨床」銀海舎、日本医療社会事業協会編(2004)「保健医療ソーシャルワーク実践」中央法規など。

ワークショップ 13:00~17:00

● ワークショップA「新人ソーシャルワーカーにとってスーパービジョンとは？」

講師：平野 幸子（明治学院大学社会学部附属研究所ソーシャルワーカー）

コーディネーター：根本 久仁子（聖隷クリストファー大学准教授）

*対象：実務経験3年程度までのソーシャルワーカー

本ワークショップは、新人ソーシャルワーカーとして日々奮闘する皆さんと共に学びます。ソーシャルワーカーとして実践しながらパワーアップしていくためには、スーパーバイザーとの相互関係をもちながら歩むことが肝心です。このワークショップでは、新人ソーシャルワーカーとして、スーパーバイザーとの歩みをより豊かなものにするため、今一度スーパービジョンについての理解を深めたいと思います。また、所属組織ではスーパーバイザーを得られないという孤軍奮闘の新人ソーシャルワーカーもいるかもしれません。さまざまなスーパービジョンのあり方についての知識を深め、スーパーバイザーを得る工夫・スーパービジョンしあえる仲間（ピア）を得る工夫を考えたいと思います。ひとりぼっちでがんばるのではなく、学び合いながら成長するソーシャルワーカーをめざしたいと思います。

9月4日現在ワークショップBは、すでに定員を超える申込みをいただきました。以降はキャンセル待ちの受付しかお受けできません。申し訳ございませんが、ご了承・ご容赦の程お願いいたします。

● ワークショップB「中堅ソーシャルワーカーのスーパービジョンシステム

～ソーシャルワーク発展への貢献～」

講師：堀越 由紀子（田園調布学園大学教授）

コーディネーター：大瀧 敦子（明治学院大学教授）

*対象：実務経験3年以上、主に相談支援中心の実践をするソーシャルワーカー

現在、社会的排除を生み出す社会構造、度重なる政策の改変、人々の生活課題の複合化などによって、ソーシャルワーク実践は困難度を増しているように思われます。

それにもかかわらず、ケアマネジメントの普及ともあいまって、ソーシャルワークを手順化可能な機械的営みと考える傾向があります。

そうした状況下、ジレンマを抱え、リアリティショックあるいはバーンアウトに至るソーシャルワーカーも少なくないと思われます。

ここで想起されるのがスーパービジョンですが、それは個々のソーシャルワーカーを支えるものとして、すなわちミクロレベルで捉えられてはいないでしょうか。しかし、いま求められるのは職場あるいは職域においてワーカーを支援するメゾレベルのシステムで、その中心的な担い手として期待されるのが経験3年以降の中堅者の皆さんです。今回のワークショップでは、スーパービジョンシステム定着への道筋や手法についてご一緒に考えたいと思います。

● ワークショップC「ソーシャルワーク実習生へのスーパービジョン」

講師：池田 雅子（北星学園大学教授）

コーディネーター：北川 清一（明治学院大学教授）

*対象：ソーシャルワーク実習を担当するソーシャルワーカー

社会福祉士及び介護福祉士法改正によって、実習指導担当者の要件や実習科目の目標が

見直されました。そのなかで実習指導担当者は、利用者や当事者の側に立ち、他の専門職と対等に連携することができる「真に実践力のあるソーシャルワーカー」を育てることが期待されています。しかし現場では、ソーシャルワーカーとして独自の領域が不明瞭である場合も少なくありません。また実習を行う学生のコミュニケーション能力の未熟さなどが指摘されており、実際の実習指導においては多くの難題が横たわっています。

そこでこのワークショップでは、これらの現状を踏まえつつ、実習生へのスーパービジョンのあり方について学びます。「実践力」を養うためには従来以上に参加型の実習が重視されるため、実習経験や課題の工夫を検討します。また学生の経験を深めるために、実習記録や面談を通したスーパービジョンが不可欠であり、その効果的な方法について相互に学びます。

●●●・・・開催要項・・・●●●

1) 開催日時 2009年10月24日(土)

①基調講演 10:00～11:45 ②ワークショップ 13:00～17:00

2) 会場 明治学院大学 白金キャンパス(東京都港区白金台1-2-37)

3) 対象と定員

対象は、原則として、現在社会福祉の諸領域にて実践活動を行っている方です。
ワークショップの定員は、各20名です。研修会定員は計60名です(先着順)。

基調講演オープン参加は、関心のある方なら、どなたでも参加できます。
研修会定員とは別に、定員50名先着順にて受け付けます。

4) 参加費

- ・研修会(基調講演とワークショップ):3,000円
申込受付後、振込用紙を送付しますので、事前にお振り込みください。
参加費振込後の返金には応じられませんのでご了承ください。
- ・基調講演オープン参加:1,000円 当日受付にてお支払いください(申込要)。

5) 申込方法 申込受付開始:2009年9月1日(火)より

- ・研修会:参加希望のワークショップを1つ選び、申込用紙の所定事項を記入しFAX・Eメールで申込先へお送りください。折り返し振込用紙を送りますので、参加費を入金してください。参加費入金確認後、受講票を送ります(参加費入金確認をもって申込となります)。定員になり次第締め切ります。
振込控えが領収証となります。改めでの領収証発行はできませんのでご了承ください。
- ・基調講演オープン参加:TEL・FAX・Eメールにて申込先へ直接お申し込みください。

◆詳細・申込先◆ 明治学院大学社会学部附属研究所

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 Eメール issw@soc.meijigakuin.ac.jp
TEL 03-5421-5204・5205 FAX 03-5421-5205

＜明治学院大学 白金キャンパスへの交通＞

東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線「白金台駅」「白金高輪駅」、都営地下鉄浅草線「高輪台駅」より徒歩約7分

J R・京浜急行「品川駅」高輪口下車、都バス「目黒駅」行で「明治学院前」下車

J R・東急「目黒駅」東口（ロータリー側）下車、都バス「大井競馬場」行で「明治学院前」下車



2009年度 第23回社会福祉実践家のための臨床理論・技術研修会 申込書

■氏名（フリガナ）

■明治学院大学卒業生の場合
（西暦） 年度 卒業

■所属先

■所属先における職名

■社会福祉実践家としての経験年数
年

■資格（おもちの資格に○をつけるか、おもちの資格名を、その他（ ）にご記入ください）

社会福祉士 精神保健福祉士 介護支援専門員 介護福祉士 保育士 その他（ ）

■所属先住所 〒

TEL

FAX

Eメール

■自宅住所 〒

TEL

FAX

Eメール

◆参加希望のワークショップ？ → A B C （必ず○を付けてください）

◆振込用紙・受講票の発送先？ → 所属先 自宅 （どちらか選択してください）

※ 個人情報の取扱いについて：明治学院大学社会学部附属研究所では、申込時における個人情報について「学校法人明治学院個人情報保護方針」に副って厳重に管理いたします。これらの個人情報は、明治学院大学社会学部附属研究所の「社会福祉実践家のための臨床理論・技術研修会」ご案内用としてのみ利用いたします。第三者には提供いたしません。